

ふるさと沼津第一



沼津饗校区の 歴史探索

平成28年8月15日 第2号

発行：第一地区コミュニティ推進委員会



この会報誌は第一地区の歴史発見事業の一環です

狩野川のほとり

かっぱが見守るまち志多町

東海道の街道筋に町域が整った志多町では、チンチン電車の走る昭和初期、水難よけのお祭りとして、「かっぱ祭り」（水神宮祭典）が行われていました。

当時の狩野川は、鯉などの川魚・手長えび・かになどがよく獲れ格好の水泳場でもありました。

川辺でかっぱに引き込まれないように、水難の他あらゆる災害からの無事を祈願するのがかっぱ祭



昭和17年 志多町子供会狩野川水神宮

りです。

7月のお盆の頃、芦で祠を作り、水神宮の使いをするといいうかっぱの雄・雌を飾ります。ろうそく灯りの中で、恐ろしい顔のかっぱが両手を広げる様子は、当時の子供たちを大変怖がらせたと言われています。



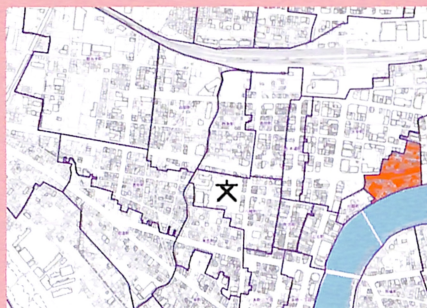
平成27年再現

祭りでは、水難避けの焼印入りのお守り木札が売られ、現在の川廊町から志多町にかけて金魚すくいや綿菓子などの夜店が並んだり、踊りもあつたりで、近隣町内から多くの人たちが賑わいました。

一時期途絶えていたこの行事は、平成23年、有志によって復活しました。2年に一度、7月になると、子供たちがかわいいかっぱの扮装をして、まち中を練り歩きます。（志多町自治会 <http://kanokappa.jimdo.com/>）

町名の由来を尋ねる

～志多町～



志多町は、江戸時代には「下町」ともしるされてきました。この町域の西側一帯は沼津城内地であり、一段高い台地になっていることから、「城の下に位置している町域」ということで「下町」と称され、後に、「志多町」と字を当てて使われたのではないかとされています。

このコラムは、静岡新聞社発行の「町名の由来」などを参考に作成したものです。

わたしの思い出

あの時のこと

「このまち」とは、「この人に聞け！」

このコーナーでは小学校の思い出や空襲後焼け野原となったまちが、復興を遂げていくさまざまな道を、まちの「重鎮」にお聞きします。

○志多町にいらつしやったときの、沼津の印象はいかがでしたか？

(木村) 昭和29年に嫁いできたのですが、チンチン電車にびっくりしました。

(山口) 当時、今の東京電力辺りに住んでいたのですが、家の前を電車が走っていたんです。早朝5時半頃の一番電車より先に起きて家事をしなければいけなかったけれど、眠くて電車の音で起きてはお姑さんに怒られたものです。

(小野田・鈴木) 志多町には停留所がなかったけれど、最初のころは手を挙げれば停まってくれました。

(小野田) 私は志多町生まれ。第一小学校に通いました。

(高原) 私のころは小学校の生徒数が2000人を超えて満員になり、途中から第五小学校に通いました。

○志多町のこと、特に記憶に残っている事柄はありますか。

(高原) 空襲です。私は函南に疎開



左から 小野田さん、岡田さん、鈴木さん、高原さん、遠藤さん、木村さん、山口さん

していたのですが、沼津大空襲の夜、山の上をB29が旋回していて、エンジン音が変わってとても大きな音になり、外を見たら沼津が燃えていました。

(小野田) あのころは学校に工場の機械を運び込んで、みんな働いていたんです。空襲のたびに裏の狩野川に逃げました。

(高原) でも川は機銃掃射があり、撃たれて亡くなった方もいました。

(鈴木) 私は伊勢湾台風が印象に残っています。水神宮さん近くの堤防が切れて、溜まった水がサーッと引いて、家の物置にあったものが石臼まで全部流されてしまいました。

(遠藤) 一番記憶に残っているのは



水出、水害ですね。狩野川台風が一番大変でしたが、1年に3回以上も水害があった年もありました。みんな、溜まった水が引きそうになつたら急いでゴミを出すんです。水にゴミを持っていつてももらえるように。うちは押入れの中段まで水が来て、廊下の泥を掻き出すのが大変でした。畳を濡らしたらいけないので、載せるための専用の台(馬)を作ったりもしました。

(岡田) 1年間畳を上げたまま、消毒用の石灰を撒いている間に次の台風が来たこともありました。

(遠藤・木村) 志多町の人間は慣れっこになっていて、けが人も出なかったし、畳を濡らした人間も少なかった記憶があります。

(山口・高原) 戦前、志多町の若い子はみんな泳げたんです。水神宮さんの橋の上から先輩に突き落とされて泳ぎを覚えしました。その甲斐あって水出のとき川に落ちた人を飛び込んで助けたという話もありました。

(岡田) 水門ができてから、嘘のように水がでなくなりました。

(取材 ■ 佐藤、阿部、山崎)

求ム！ まちのお宝

昔の写真や資料の情報をお寄せ下さい

1868年、日本最初の近代的小学校とされる代戯館（だいぎかん）が現在の上下通り付近に開設されました。これが沼津市立第一小学校の前身となっています。

平成30年に創立150周年を迎えることを記念して、第一地区コミュニティ推進委員会では、歴史再発見事業を行うことしました。今年は、いろいろな資料を集めていく予定ですのでご協力をお願いします。

(第一地区センターURL : palangel.jp/r2/us/daiichi/)

みなさんのお宅に眠っている昔のまちなみの写真や懐かしい道具がありましたら、お知らせください。

